

# 鉄道施設の首都直下地震・南海トラフ地震対策

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時に効果が見込まれる事例

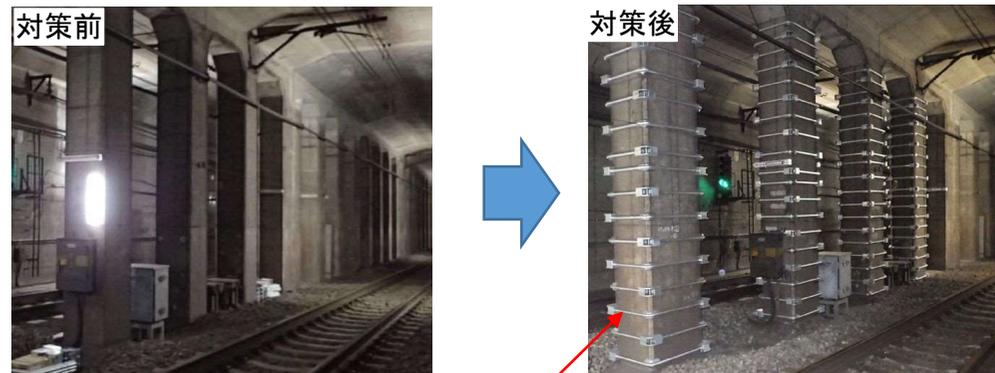
NATIONAL RESILIENCE

**概要** 要:トンネル内における中柱の耐震補強を実施することで、大規模地震による損傷を防止し、震災時においても鉄道としての機能維持が可能になる見込み。

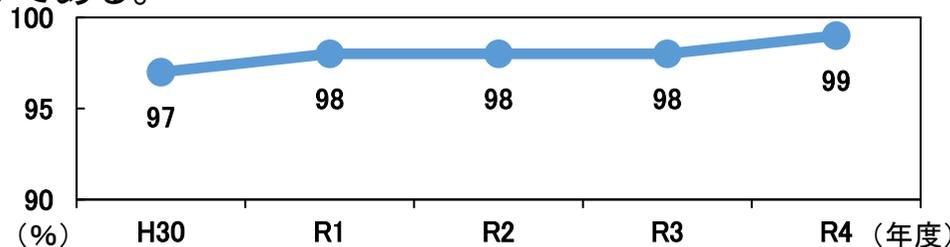
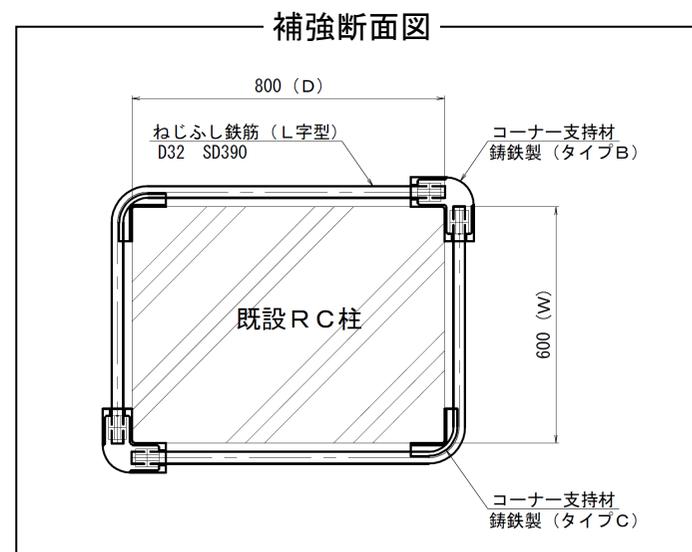
**対策名**: 60 大規模地震による駅、高架橋等の倒壊・損傷対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

- **実施主体**: 相模鉄道株式会社
- **実施場所**: 神奈川県横浜市
- **事業概要**: 相模鉄道いずみ野線 南万騎が原駅～緑園都市駅間のトンネルにおいて、せん断耐力を補い損傷を防止するため、中柱195本の耐震補強(リブバー耐震補強)を実施している。(事業完了予定年度: 令和9年度)
- **事業費**: 約0.67億円(令和4年度補正予算実施分)  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約0.67億円)
- **想定している災害、効果見込み**: 首都直下地震等の大規模地震によるトンネルの損傷レベルを最小限に抑え、震災時においても鉄道としての機能維持が可能になる見込みである。また、本線路は1日あたり片道断面輸送量約3万人であり、本補強を実施することにより、大規模地震時のトンネルの損傷を抑えることで、地域の安全確保にも寄与する見込みである。

リブバー耐震補強



リブバー



首都直下地震・南海トラフ地震で震度6強以上が想定される地域等に存在する主要鉄道路線の耐震化率 ※令和4年度末までの目標としていた100%を概ね達成。